

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320238	XZY2320238	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
中国語 5bA	朱 継征			情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×
授業目的							
この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどを理解することを主な内容とし、一層高いレベルの語学力を身に付けさせる。この中で、中国語の聴解力、会話力、読解力、作文力などの総合的運用能力を高め、中国語検定試験4～3級合格、HSK(漢語水平考試)3～5級合格を目指す。授業には、中国語と日本語の異同についての説明及び通訳・翻訳の訓練においても、日本語の使用を最小限にするが、単語、本文と文法の説明及び討論会、発表会と授業での指示を基本的に中国語で行う。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前はなし。事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。				第9回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。			
第2回 【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。				第10回 【授】国際関係について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。			
第3回 【授】社会問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。				第11回 【授】国際関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。			
第4回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。				第12回 【授】社会・経済・国際の問題についての中国語発表会 【前・後】事前は、各自分担の主題について発表内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。			
第5回 【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。				第13回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。			
第6回 【授】経済問題について中国語の討論会を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。				第14回 【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。 【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。			
第7回 【授】経済分野の事について通訳・翻訳の訓練を行う。 【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。				第15回 【授】中国語検定試験あるいはHSKの指導と模擬試験を行う。 【前・後】事前は、中検あるいはHSKの資料を収集する。事後は、各自の経験をよく総括す			
第8回 【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。 【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。				第16回 【授】定期試験 【前・後】事前は総合復習をする。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
成績判定は主に定期試験の結果に基づくが、授業での活躍と出席状況も成績判定の重要な根拠になります。							
教科書参考書							
中国の大学で使用される教科書、新聞記事などを導入する。 各種の中国語辞書を活用する。							
受講に当たっての留意事項							
辞書を持参すること、予習・復習をすること。 聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。							
学習到達目標							
新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐって意見交換をするように挑戦する。実践訓練の中で、中国語検定試験4～3級やHSK3～5級の合格を目指す。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320238	XZY2320238	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 5bB	寺沢 一俊			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
中国語による「聞く・話す・読む・書く」の各能力をバランスよく伸ばすことを目的とする。口語と文語の違いについても学習する。テキストのテーマに基づき、中国社会の様々な変化について学び、中国についての理解を深める。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】第一課「ポーリング」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 2 回 【授】第一課「ポーリング」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 3 回 【授】第二課「朝の軽食」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 4 回 【授】第二課「朝の軽食」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 5 回 【授】第三課「漢方薬」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 6 回 【授】第三課「漢方薬」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 7 回 【授】第四課「中国アルバイト事情」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 8 回 【授】第四課「中国アルバイト事情」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。				第 9 回 【授】第五課「工場見学」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 1 0 回 【授】第五課「工場見学」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 1 1 回 【授】第六課「パソコン」(1) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 1 2 回 【授】第六課「パソコン」(2) 【前・後】事前に音読した後、文の内容を理解しておくこと。復習の際には文の内容を暗読できるようにすること。 第 1 3 回 【授】練習問題 1～3 【前・後】事前に練習問題の解答をしておくこと。復習の際には間違えたところを再チェックすること。 第 1 4 回 【授】練習問題 4～6 【前・後】事前に練習問題の解答をしておくこと。復習の際には間違えたところを再チェックすること。 第 1 5 回 【授】練習問題 7～8 【前・後】事前に練習問題の解答をしておくこと。復習の際には間違えたところを再チェックすること。 第 1 6 回 【授】期末試験			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							70
小テスト・授業内レポート							10
宿題・授業外レポート							10
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
成績評価は出席率、授業態度、レポート、定期試験の結果を総合的に判断する。中国語による発話の正確さ、流暢さを重視する。							
教科書参考書							
教科書：顧春芳 荊明月著「会話と文章で学ぶ中級中国語」 白帝社 1800 円+税 参考文献：講義中に紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
必ず予習をすること。予習にする際には音読をすること。講義中にテキスト本文の内容について中国語で質疑応答練習をするので、学習した中国語文は繰り返し音読をして暗誦すること。							
学習到達目標							
会話表現だけでなく書き言葉による表現に慣れる。またテキストの練習問題を通じて既習の文法事項を復習し、中国語の検定試験にも対応できるようにしたい。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習